Dekart Private Disk バージョン 2.10 ユーザガイド

2007.11.06 改定版

はじめに	4
本ユーザガイドの目的	4
本ユーザガイドの構成	4
本ユーザ ガイドの表記規則	4
使用許諾契約書	4
連絡先	6
第1章 - Dekart Private Disk について	6
Dekart Private Diskで重要な個人情報を保護する方法	6
Dekart Private Disk でデータを保護する方法	7
Dekart Private Disk で作業環境を保護する方法	7
主な機能	7
Dekart Private Disk コンポーネント	8
第2章 - Dekart Private Disk のハードウェア/ソフトウェア要件	8
コンピュータのハードウェア要件	8
コンピュータのソフトウェア要件	8
第3章 - Dekart Private Disk のインストール、更新、およびアンインストール	8
Dekart Private Disk のインストール	9
Dekart Private Disk の再インストール	15
Dekart Private Disk の更新	16
Dekart Private Disk のアンインストール	16
第4章 - Dekart Private Disk の操作方法	17
起動	17
リムーバブル ディスクへのインストール	17
Dekart Private Disk コントロール パネル	
Dekart Private Disk の設定	19
Dekart Private Disk の自動実行	19
Dekart Private Disk のアイコンの有効化/無効化	20
コントロール パネルの最小化 - [閉じる] ボタンまたは [X] ボタンのクリック時	20
現在開いているファイルのチェック - ディスクのマウント解除前	20
ディスクのマウント後、自動的に Windows エクスプローラを開く	21
プログラム終了時の確認メッセージの無効化	21
<.dpd> ファイル拡張子の関連付け	21
ディスクのマウント時に毎回ドライブ名を指定	21
エラーおよびイベントのログ記録	21
タイムアウト時にディスクを自動的にマウント解除	22
休止状態にする前にディスクを自動的にマウント解除	22
暗号化キーのバックアップ コピーの自動作成の有効化/無効化	22
Dekart Private Disk をシステム サービスとして実行	23
ホットキーの設定	23
Dekart Private Disk システム トレイ アイコンの変更	23
仮想暗号化ディスクの作成	23
Dekart Private Disk でセキュリティを強化するための推奨事項	
仮想暗号化ディスクのプロパティの変更	31
仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除	33
ドラッグ アンド ドロップ操作での仮想暗号化ディスクのマウント	35

仮想暗号化ディスクのステータス	35
ディスクへのアクセス用パスワードの変更	36
仮想暗号化ディスクをエクスプローラで開く	36
仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除時に自動的に実行するプログラムの管理	36
仮想暗号化ディスクへのアクセスを許可するアプリケーションの管理	37
仮想暗号化ディスクのマウント時に自動的に開くファイルの管理の管理	38
仮想暗号化ディスクのパラメータの表示	38
Dekart Private Disk のコマンドラインでの操作	38
仮想暗号化ディスクの共有	41
仮想暗号化ディスクのバックアップ	41
仮想暗号化ディスクのレストア	42
仮想暗号化ディスクの削除	44
暗号化キーのバックアップ コピーの作成	45
仮想暗号化ディスクの暗号化キーのバックアップ コピーからのレストア	46
Dekart Private Disk の終了	47
Dekart Private Disk のアクティベーション	48
Dekart Private Disk テクニカル サポート	49
第5章 - トラブルシューティング	50
問題の対処法がわからない場合	50
診断メッセージ	50
用語集	51

はじめに

Dekart Private Disk は、コンピュータ上のドキュメントやファイルへの不正アクセスを簡単に防止できるコスト パフォ ーマンスの高いソフトウェアです。Dekart Private Disk で作成した仮想暗号化ディスクはパスワード保護されるため、 重要なデータを安心して保存しておくことができます。

日本語ローカリゼーション 株式会社ネクステッジテクノロジー

本ユーザガイドの目的

本ユーザガイドでは、Dekart Private Disk ユーザを対象に、Dekart Private Disk ソフトウェアを正しくインストール、操作、およびアンインストールするための方法を解説しています。

また、Dekart Private Disk ソフトウェアの動作要件、および問題が発生した場合の解決方法についても解説しています。

本ユーザガイドの構成

本ユーザガイドは以下の章で構成されています。

- <u>Dekart Private Disk について</u> Dekart Private Disk の用途と機能について解説しています。
- <u>Dekart Private Disk ハードウェア/ソフトウェア要件</u> Dekart Private Disk が正常に動作するコンピュータのハ ードウェア要件について解説しています。
- Dekart Private Disk のインストール、更新、およびアンインストール Dekart Private Disk およびその付属コンポーネントのインストール、更新、およびアンインストール方法について詳しく解説しています。
- ・ Dekart Private Disk の操作方法 Dekart Private Disk の操作方法について詳しく解説しています。
- ・ <u>トラブルシューティング</u> 問題が発生した場合の解決方法について解説しています。
- <u>用語集</u> 本ユーザガイドに出現する用語、および Dekart Private Disk に関連する重要な概念について解説しています。

本ユーザ ガイドの表記規則

本ユーザ ガイドでは以下の表記規則を使用しています。

- 重要な用語または概念は、二重引用符("")で囲んで表記しています。

- 本ユーザ ガイドの章名 (見出し)が本文中に出現する場合、かぎかっこ (「」)で囲んで表記しています。 - ユーザ インターフェイスは、半角角かっこ ([]) で囲んで表記しています。

使用許諾契約書

重要 - 以下の契約書を注意してお読みください。

本使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます)は、Dekart Private Disk およびその関連資料(以下「本ソフ トウェア」といいます)に関してお客様と Dekart(以下「DEKART」といいます)との間で締結される法的な契約書で す。本ソフトウェアをインストールおよび使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。同意されない場合は、本ソフトウェアのご使用をお控えください。

1. 使用許諾

お客様が本契約書のすべての条項を厳守される場合に限り、DEKART はお客様に対し、(a) 本ソフトウェアを 1 台のコンピュータにインストールして使用すること、および (b) 同時使用しないことを条件に、本ソフトウェアのコピーを 1 部作成してもう 1 台のコンピュータにインストールすることを許諾します。

2. 制限

お客様は、本契約書で明示的に規定されている場合を除き、(a) 本ソフトウェアをレンタル、リース、貸与、サブライ センス、譲渡、またはその他の方法で再頒布すること、(b) 本ソフトウェアをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、 または逆アセンブルすること、(c) 本ソフトウェアを改変すること、および (d) 本ソフトウェアを必要以上に複製すること は禁止されています。

3. 権利の留保

DEKART は、お客様に対して明示的に許諾していない権利をすべて留保します。DEKART は本ソフトウェアに関するすべての権利 (著作権を含みます)を保有しています。本ソフトウェアは許諾されるもので、販売されるもので はありません。

4. 契約の終了

お客様が本契約書の条項に違反した場合、DEKART は、他の権利を害することなく本契約を終了することができます。

5. 免責

DEKART は、本ソフトウェアを何等保証もない現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供しています。そのため、 DEKART は、本ソフトウェアに関するいかなる保証(商品性、特定の目的に対する適合性、信頼性または可用 性、応答の的確性、使用結果、職人的努力、および過失の不存在についての保証、義務または条件を含みま すがこれらに限定されません)も、明示、黙示、もしくは法律上のものであるかを問わず一切いたしません。本ソフト ウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

6. その他の損害に関する免責

法律上許容される最大限において、DEKART およびその供給者は、本ソフトウェアの使用もしくは使用不能から 生じる直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、または派生的損害(逸失利益、機密情 報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、設備の損傷、プライバシーの喪失、またはその他の金銭的損失を 含みますがこれらに限定されません)に関して、たとえ、DEKART がこのような損害の可能性について示唆していた 場合であっても、一切責任を負いません。

7. 責任および救済手段の制限

いかなる理由において生じる損害(すべての直接損害または間接損害を含みますがこれらに限定されません)にも かかわらず、本契約書に基づく DEKART の責任およびお客様に対する唯一の救済手段は、合理的な信頼に基 づくお客様の実際の損害額(本ソフトウェアについてお客様が実際に支払った金額を上限とします)を限度とします。

8. 準拠法

本契約書は、日本国法に準拠するものとします。ただし、本ソフトウェアを日本以外で入手された場合は、各国・ 各地域の法律に準拠するものとします。

9. 完全合意、分離可能性

本契約書は、本ソフトウェアに関するお客様と DEKART との間の完全なる合意であり、本ソフトウェアに関する、 以前のすべての口頭または書面(オンラインでの書面または電子メールでの書面も含みます)による意思表示、提 案、表明よりも優先して適用されます。 DEKART のポリシーまたは声明の条項が本契約書の条項と異なる場合 は、本契約書の条項が適用されます。 本契約書の一部の条項が無効となったり、法的な強制力を失ったり、ある いは非合法と判断された場合でも、その他の条項には影響を与えることなく完全に有効性が保たれるものとしま す。

連絡先

製品の購入情報、テクニカル サポート等のお問合せについては、以下の連絡先をご利用ください。製品に関する ご意見/ご感想についてもお気軽にお寄せください。

テクニカル サポート https://www.shareedge.com/cs/(日本語)

ご意見/ご感想 https://www.shareedge.com/cs/(日本語)

製品情報/購入情報 https://www.shareedge.com/cs/(日本語)

第1章 - Dekart Private Disk について

この章では、Dekart Private Disk の用途と機能について解説しています。

Dekart Private Diskで重要な個人情報を保護する方法

Dekart Private Disk で重要な個人情報を保護するには、まず仮想暗号化ディスクを作成する必要があります。 以下の手順に従って、仮想暗号化ディスクを作成できる環境を準備してください。

- 1. 本ユーザガイドを読みます。
- 2. Dekart Private Disk をインストールします。詳細については、「<u>Dekart Private Disk のインストール</u>」を参照してください。

インストールが完了したら、Dekart Private Disk ソフトウェアを使用して、仮想暗号化ディスクを作成できるようになります。

Dekart Private Disk でデータを保護する方法

Dekart Private Disk で作成した仮想暗号化ディスクは、Windows で従来のハード ディスクと同じように使用する ことができます。仮想暗号化ディスクは暗号化されたディスク イメージの形式で保存され、ユーザはこのディスク イメ ージとアクセス用のパスワードを指定する必要があります。このパスワードは仮想暗号化ディスクをマウントして、その 中のファイルやフォルダにアクセスするときに必要になります。Windows では、すべてのディスクに独自のドライブ名 (C:、D: など)が割り当てられています。仮想暗号化ディスクも同様で作成時にそのドライブ名を定義することになり ます。

仮想暗号化ディスク上で作業しても、今まで使い慣れた既存のプログラムの動作に問題が生じることはありません。 仮想暗号化ディスクは別のハードディスクとして考えることができます。仮想暗号化ディスクのディスク イメージには 任意の名前を付けることができ、保存場所も自由です(ネットワーク上に保存しても構いません)。ただし、仮想暗 号化ディスクにアクセスするにはパスワードが必要になります。

データを保護する方法もいたって簡単です。メディア(同じコンピュータの他のディスク、フロッピー ディスク、ZIP ドライ ブなど)から対象のデータを仮想暗号化ディスクにコピーするだけです。仮想暗号化アルゴリズムには、"CBC" モー ドの "256 ビット AES (Advanced Encryption Standard)" が採用されています。このアルゴリズムで作成した暗号 化キーは十分に信頼できるものです。Bruce Schneier の著書『Applied Cryptography』によると、256 ビット長の 暗号化キーの適合処理には、1 秒あたり 25,600 万もの暗号化演算を実行できる 4.2 x 10²² プロセッサが必要に なります。たとえこのプロセッサを使用した場合でも、暗号化キーのクラッキング (解読)には 1 年かかります。

Dekart Private Disk のインストールは簡単で、1 分以内で終了します。また、操作も簡単で、ディスク イメージを 指定して、パスワードを入力するだけです。これだけで、仮想暗号化ディスク上で従来と同じようにデータを操作で きるようになります。

Dekart Private Disk の操作方法の詳細については、「Dekart Private Disk の操作方法」を参照してください。

Dekart Private Disk で作業環境を保護する方法

会議などで席を外す場合など、仮想暗号化ディスクでの作業を一時的に中断しなければならない場合も考えられます。このような場合、ホットキーを使用してすべての仮想暗号化ディスクをすばやくマウント解除することができます(「<u>ホットキーの設定</u>」を参照)。仮想暗号化ディスクをマウント解除しておけば、他者に無断でデータを見られる 心配はありません。

席に戻ったときに、もう一度仮想暗号化ディスクをマウントするには、ディスク イメージを指定して、パスワードを入力 する必要があります。

Dekart Private Disk の操作方法の詳細については、「Dekart Private Disk の操作方法」を参照してください。

主な機能

Dekart Private Disk には以下の特徴があります。

- 仮想暗号化アルゴリズムには、"CBC" モードの "256 ビット AES (Advanced Encryption Standard)" が採用 されています。
- ・ 乱数の生成には、暗号化ハッシュ関数 "SHA" が使用されます。

 仮想暗号化ディスクの最小容量は1 MB です。最大容量は FAT環境では 2.1 GB、FAT32環境では 4 GB、 Windows 2000/XP/2003/Vista (NTFS)環境では1 TB です。

Dekart Private Disk コンポーネント

Dekart Private Disk は以下のコンポーネントで構成されています。

- ・ Dekart Private Disk ソフトウェア
- 本ユーザガイド

第2章 - Dekart Private Disk のハードウェア/ソフトウェア要件

この章では、以下の点について解説しています。

- ・Dekart Private Disk を実行するコンピュータのハードウェア要件
- ・ Dekart Private Disk が正常に動作するオペレーティング システム (Service Pack も含む)

コンピュータのハードウェア要件

Dekart Private Disk を正常に実行するには、コンピュータが以下の最低要件を満たしている必要があります。

- ・ Intel Pentium 166 MHz プロセッサ以上
- 256 MB RAM
- 2 MB 以上のハード ディスク空き容量

重要:上記の要件の他に、ご使用のオペレーティングシステムで必要な要件を満たしている必要があります。

コンピュータのソフトウェア要件

Dekart Private Disk は以下のオペレーティング システムで動作します。

- Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以上)
- ・ Windows XP Professional/Hone Edition (Service Pack 2 以上、32/64 ビット バージョン)
- Windows Vista (32/64 ビット バージョン)

第3章 - Dekart Private Disk のインストール、更新、およびアンインストール

Dekart Private Disk をインストールする前に、コンピュータが「Dekart Private Disk のハードウェア/ソフトウェア要件」で説明されているハードウェア/ソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。 注意: Dekart Private Disk を Windows 2000、Windows XP、Windows Vista にインストールする場合、コンピュータに管理者権限でログインする必要があります。Windows XP/Vista Home Edition にインストールする場合は、管理者権限は必要ありません。 Dekart Private Disk のインストール

注意: Dekart Private Disk を Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista にインストールするには、管理者権限が必要になります。

Dekart Private Disk をインストールするには、以下の手順に従います。

- インターネットからダウンロードした PrvDisk.exe を実行するか、CD-ROM ドライブに 製品CD を挿入してセット アップ ファイル(PrvDisk.exe)を実行します。
 注意: コマンドラインでパラメータ "/s" を付けて PrvDisk.exe を実行することもできます (たとえば、 c:¥PrvDisk.exe /s)。この場合、必要なすべての処理がサイレント モードで実行されます (ユーザにはインストー ル情報は表示されません)。
- 2. ようこそ画面が表示されます(図1を参照)。

🐌 セットアップ	
Dekart Private Disk 2.10	dekart Mart It Stude
Dekart Private Disk 2.10 セットアップ プログラムにようこそ。このセットアップ プログラムを と、ご使用のコンピュータに Dekart Private Disk 2.10 をインストール することができます。 セットアップを続行する前に、実行中のすべての Windows プログラムを終了することを強く	E使用する お勧めしま
9。 [キャンセル] をクリックしてセットアップを終了し、実行中のプログラムを終了してください。 を続行するには、「次へ」 をクリックしてください。 警告: このプログラムは著作権法および国際条約によって保護されています。	セットアップ
ー このプログラムまたはその一部を無断で複製したり、頒布したりする行為は著作権の侵害 で注意してください。	こなりますの
(月本(N)) (水へ(N)) (×) (×) (×) (×) (×) (×) (×) (×) (×) (キャンセル]
図 1	

ようこそ画面

3. [次へ]をクリックします。使用許諾契約書が表示されます(図2を参照)。

🐌 セットアップ	
Dekart Private Disk 2.10	dekart
セットアップを続行するには、以下の使用許諾契約書の条項に同意する必要があります。 場合は、Dekart Private Disk 2.10 セットアップを終了してください。	司意できない
※注意:インストール前に必ずお読みください。	^
下記の使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、お客様が「本ソフトウェア」を使用「 条件を記したものです。本ソフトウェアをインストールしたことにより、下記の条件に同意し、 みなされます。なお、本ソフトウェアのお客様は個人の方のみを対象としております。	する際の 🥌 たものと
使用許諾契約書	
第1条 使用権の許諾 1.本ソフトウェアは使用を許諾されるものであり、物品として販売されるものではありません 元である株式会社ネクステッジテクノロジーは、本契約記載の条件に従い、以下にかかげ 許諾します。 本ソフトウェアに関し、お客様が自己所有するコンピュータハードウェア(お客様が自己使用 ース物件またはレンタル物件を含む)におけるセキュリティ対策を目的とした以下の非独占 許諾不可能かつ譲渡不可能な権利をお客様に対して許諾します。	。発売 る権利を 月するU 減り、再
□はい、使用許諾契約書に同意します	~
く戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル
図 2	

_____ 使用許諾契約書

使用許諾契約書の条項を注意して読みます。使用許諾契約書の条項に同意する場合は、[はい、使用許諾契約書に同意します] チェックボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。アクティベーション画面が表示されます(図3を参照)。

注意: 使用許諾契約書の条項に同意しない場合は、チェックボックスはオフのままにして、[キャンセル] をクリッ クしてください。この場合、Dekart Private Disk のインストールは中止されます。

🐻 セットアップ	
Dekart Private Disk 2.10	
Dekart Private Disk 2.10 をインストールするための情報を入力してくださ	, ìo
名前:	
nextedge	
会社:	
nextedge	
アクティベーション キー:	
000000000000000000000000000000000000000	
〈戻る(8) 次/	(N)> ++>>セル
図 3	

アクティベーション画面

アクティベーション画面のフィールドに必要な情報を入力して、[次へ] をクリックします。インストール先の指定画面が表示されます(図 4 を参照)。
 注意: [アクティベーション キー] フィールドには、Dekart Private Disk のアクティベーション キーを必ず入力してください。

🐻 セットアップ 📃 🗖 🔀
Dekart Private Disk 2.10
Dekart Private Disk 2.10 は以下のディレクトリにインストールされます。 このディレクトリにインストールするには、「次へ」 をクリックしてください。 別のディレクトリにインストールするには、 [参照] をクリックして目的のディレクトリを指定してください。 Dekart Private Disk 2.10 のインストールを中止するには、 [キャンセル] をクリックしてセットアップを終 了してください。
インストール先ディレクトリ
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
図 4

インストール先の指定画面

6. Dekart Private Disk のインストール先フォルダを指定して、[次へ] をクリックします。プログラム フォルダの指定 画面が表示されます (図 5 を参照)。

퉒 セットアップ		
REVATED SX	Dekart Private Disk 2.10	
[プログラム フォ 入力することも、 してください。	⊧ルダ]で指定したフォルダにプログラム アイコンが追加されます。新しいフォ 、「既存のフォルダ]リストから選択することもできます。続行するには、じたへ	†ルダ名を]をクリック
プログラム フォ	ルダ(P):	
Dekart¥Private) Disk	
既存のフォルダ	[™]	
		<u>^</u>
		~
	〈戻る(B) 次へ(N) > ま	キャンセル
	図 5	

プログラム フォルダの指定画面

7. Dekart Private Disk のプログラム フォルダ名を指定して、[次へ] をクリックします。インストール開始画面が表示されます (図 6 を参照)。

🗓 セットアップ 📃 🗖 🔀
Dekart Private Disk 2.10
Dekart Private Disk 2.10 を更新する準備ができました。 ソフトウェアの更新処理を開始するには、「次へ」「をクリックしてください。設定を変更するには、「戻る」 を クリックしてください。セットアップを終了するには、 [キャンセル] をクリックしてください。
■ <u>デスクトップ上にショートカットを作成(S)</u> ■ <u>R</u> eadMe を表示 ■ インストール後 Dekart Private Disk 2.10 を実行(<u>R</u>)
〈戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

インストール開始画面

- 8. 必要に応じて、[デスクトップ上にショートカットを作成]、[ReadMe を表示]、[インストール後 Dekart Private Disk を実行] の各チェックボックスをオンにして、[次へ] をクリックします。
- 9. インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます(図7を参照)。



インストール完了画面

10. [OK] をクリックします。

11. コンピュータを再起動して、インストール処理でシステムに加えられた変更を適用します。

[デスクトップ上にショートカットを作成] チェックボックスをオンにした場合、デスクトップ上に Dekart Private Disk の ショートカット アイコンが表示されます。

注意: Dekart Private Disk をリムーバブル ディスク (フラッシュ ディスク) にインストールする方法については、「<u>リムー</u> バブル ディスクへのインストール」を参照してください。

Dekart Private Disk の再インストール

Dekart Private Disk は、必要に応じて再インストールすることができます。たとえば、以下のような場合、再インストールが必要になります。

- ・ オペレーティング システムを再インストールした場合
- ・ 何らかの理由 (一部のモジュールを削除してしまった場合など)で Dekart Private Disk の機能が正常に動作 しなくなった場合

Dekart Private Disk を再インストールするには、PrvDisk.exe または **Dekart Private Disk** 製品内のセットアップファイルを実行します。残りの手順については、この章の「<u>Dekart Private Disk のインストール</u>」を参照してください。

Dekart Private Disk の更新

Dekart Private Disk は、新しいバージョンが入手可能になったときに更新することができます。

新しいバージョンを入手するには、現在のバージョンのアクティベーション キーを添えて、テクニカル サポートまでお問 合せください。新しいバージョンは、<u>http://www.dekart.com</u>(英語)または <u>http://www.shareedge.com</u>(日本語) からダウンロードするか、特別に注文することができます。

Dekart Private Disk の新しいバージョンをコンピュータにインストールするには、PrvDisk.exe、または製品 CD 内の セットアップ ファイルを実行します。インストール済みの古いバージョンを更新することを示すメッセージが表示されま す。残りの手順については、この章の「Dekart Private Disk のインストール」を参照してください。

注意: リムーバブル ディスクに Dekart Private Disk が既にインストールされている場合、新しいバージョンをインスト ールする前に、「<u>リムーバブル ディスクへのインストール</u>」で説明されている操作を実行する必要があります。

Dekart Private Disk のアンインストール

何らかの理由で Dekart Private Disk のアンインストールが必要になる場合があります。Dekart Private Disk をア ンインストールするには、以下の手順に従います。

- 1. Dekart Private Disk を終了します (実行中の場合)。
- 2.[スタート] メニューから [すべてのプログラム]、[Dekart]、[Private Disk]、[アンインストール] の順にクリックします。 または、[プログラムの追加と削除] ウィンドウ([スタート] -> [コントロール パネル] -> [プログラムの追加と削除]) で、[Dekart Private Disk] を選択して、[変更と削除] をクリックします。

Dekart Private Disk のアンインストールを確認するメッセージが表示されます (図 8 を参照)。

Dekart F	Private Disk 2.10	
2	Dekart Private Disk 2.10 を削除してもよろしいですか? 処理を続行する前にプログラムを終了してください。	

- アンインストールの確認
- 3. [はい] をクリックすると、アンインストール処理が開始され、完了するとその旨を示すメッセージが表示されます (図 9 を参照)。注意: [いいえ] をクリックすると、アンインストール処理は中止されます。

Dekart	Private Disk 2.10
(Dekart Private Disk 2.10 が正常に削除されました。コンピュータを再起動してください。
	<u>OK</u>

4. [OK] をクリックして、処理を完了します。

注意: リムーバブル ディスクから Dekart Private Disk をアンインストールする場合は、flash_disk:¥..¥Private Disk¥ フォルダを削除します。このフォルダのパスは、ドライブ名を除いて、<u>インストール手順</u> #6 で指定したものと同じになります。

第4章 - Dekart Private Disk の操作方法

この章では、Dekart Private Disk の操作方法について詳しく解説しています。

起動

Dekart Private Disk が正常にインストールされ、Windows を再起動すると、Dekart Private Disk を起動することができます。Dekart Private Disk を起動するには、以下のいずれかの操作を実行します。

- ・ デスクトップ上の Private Disk ショートカット アイコンをダブルクリックします。
- [スタート] メニューから [すべてのプログラム]、[Dekart]、[Private Disk]、[Private Disk] の順にクリックします。
- Windows エクスプローラで、Dekart Private Disk のインストール先フォルダに移動して、アプリケーション アイ コンをダブルクリックします。注意: Dekart Private Disk をリムーバブル ディスクにインストールしている場合は、 flash_disk:¥..¥Private Disk¥ フォルダのアプリケーション アイコンをダブルクリックします。このフォルダのパスは、 ドライブ名を除いて、インストール手順 #6 で指定したものと同じになります。なお、対象のコンピュータで以 前に Dekart Private Disk を管理者権限で起動したことがある場合、2 回目以降管理者権限は必要あ りません。

Dekart Private Disk が起動します。また、システム トレイに **Dekart Private Disk** アイコンが表示されます(図 10 を参照)。



Dekart Private Disk システム トレイ アイコン

リムーバブル ディスクへのインストール

Dekart Private Disk はリムーバブル ディスクにインストールして、完全にモバイル化することができます。

1. Dekart Private Disk を起動します。

2. リムーバブル ディスクをコンピュータに接続します。

3. システム トレイの Dekart Private Disk アイコンを右クリックして、[リムーバブル ディスクにインストール] をクリックします。

4. [ドライブ名] ドロップダウン リストから対象のリムーバブル ディスクのドライブ名を選択して、[OK] をクリックします。

必要なすべてのファイルがリムーバブル ディスクにコピーされ、他のコンピュータでも Dekart Private Disk を実行できるようになります。この際、プログラムをインストールする必要はありません。

注意 1: リムーバブル ディスク上のインストール先フォルダのパスは、ドライブ名を除いて、<u>インストール手順</u> #6 で指定したものと同じになります。

注意 2: 対象のコンピュータで以前に Dekart Private Disk を管理者権限で起動したことがある場合、2回目以降管理者権限は必要ありません。

Dekart Private Disk コントロール パネル

Dekart Private Disk は、コントロールパネルを使用して管理します(図 11 を参照)。

🔰 Dekart P	rivate Disk	
ディスク オフ	ション リカバリ カスタマイズ	
9	仮想暗号化ディスクをオペレーティングシステムにマウントします。	
P	新しい仮想暗号化ディスクを作成して、アクティブ化およびフォ ーマットします。	作成(B)
\$	仮想暗号化ディスクを削除します。	育場余(型)
	仮想暗号化ディスクのブロパティを表示および変更します。	プロパティ®
バージョン情報	HE ヘルプ(H)	開じる(Q)

Dekart Private Disk コントロール パネル

Dekart Private Disk コントロール パネルを開くには、以下のいずれかの操作を実行します。 1. Dekart Private Disk システム トレイ アイコンをダブルクリックします。 2. Dekart Private Disk システム トレイ アイコンを右クリックして、[コントロール パネル] をクリックします (図 12 を 参照)。



Dekart Private Disk システム トレイ アイコンのポップアップ メニュー

3. [スタート] メニューから [すべてのプログラム]、[Dekart]、[Private Disk]、[Private Disk] の順にクリックします。 コントロール パネルが表示されます (図 11 を参照)。

Dekart Private Disk の設定

Dekart Private Disk の動作は、必要に応じてカスタマイズすることができます。

Dekart Private Disk の自動実行

Dekart Private Disk をシステムの起動時に自動的に実行されるように設定することができます。自動実行機能を 有効にするには、[システム起動時に自動的に実行する] チェックボックスをオンにします (図 13 を参照)。

🗖 Dekart Private Disk	
ディスク オプション リカバリ カスタマイズ	
▼システム起動時に自動的に実行する(R)	
□ウィンドウを閉じたときにプログラムをシステムトレイに最小化する(M)	
□ エラーおよび処理のログを記録する(L)	
マウント時にエクスプローラを実行する(E)	
□マウント解除前に開いているファイルをチェックする(0)	
□ プログラムの終了時に確認メッセージを表示しない(N)	
□システム トレイにアイコンを表示する(T)	
■ <.dpd> ファイル拡張子に関連付ける(S)	
□マウント前にドライブ名を選択する(D)	
□ 指定の期間アイドル時、すべてのディスクのマウントを解除する①: 10	⇒ 分
□ 休止状態にする前にすべてのディスクのマウントを解除する(B)	
□ ディスクの暗号化キーのバックアップを自動作成する(B)	
□ Private Disk をシステム サービスとして有効にする(⑤)	
デフォルトに戻す(E)	
「バージョン情報」 ヘルプ(日)	<u>閉じる(C)</u>
হি 13	

コントロール パネルの [オプション] タブ

Dekart Private Disk のアイコンの有効化/無効化

システム トレイの Dekart Private Disk アイコンは、必要に応じて表示/非表示を切り替えることができます。アイコンを表示するには、「システム トレイにアイコンを表示する] チェックボックスをオンにします。

コントロール パネルの最小化 - [閉じる] ボタンまたは [X] ボタンのクリック時

コントロール パネルは、[閉じる] ボタンまたは [×] ボタンをクリックしたときにシステム トレイに最小化することができ ます。コントロール パネルの最小化機能を有効にするには、[ウィンドウを閉じたときにプログラムをシステム トレイに 最小化する] チェックボックスをオンにします。

現在開いているファイルのチェック - ディスクのマウント解除前

Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[オプション] タブの [マウント解除前に開いているファイルをチェック する] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにしている場合、ディスクをマウント解除しようとすると、 現在開いているファイルに関する警告メッセージが表示されます。ユーザはマウント解除を続行する前に、必要に 応じて変更を保存することができます。チェックボックスをオフにしている場合は、この警告メッセージは表示されず、 ディスクは強制的にマウント解除されます。

注意: データの喪失を避けるためにも、このチェックボックスはオンにしておくことをお勧めします。デフォルト設定では、 この機能は、オフになっています。

ディスクのマウント後、自動的に Windows エクスプローラを開く

ディスクのマウント後、自動的にそのディスクを Windows エクスプローラで開くように設定することができます。この機能を有効にするには、Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[オプション] タブの [マウント時にエクスプローラを実行する] チェックボックスをオンにします。

プログラム終了時の確認メッセージの無効化

Dekart Private Disk 終了時の確認メッセージは、必要に応じて表示/非表示を切り替えることができます。確認 メッセージが表示されないようにするには、[プログラムの終了時に確認メッセージを表示しない] チェックボックスをオ ンにします。

<.dpd> ファイル拡張子の関連付け

Dekart Private Disk にディスク イメージの拡張子 (*.dpd)を関連付けておくと、Windows エクスプローラでディスク イメージをダブルクリックするだけでディスクをマウントすることができます。 関連付けを有効にするには、 [<.dpd> ファイ ル拡張子に関連付ける] チェックボックスをオンにします。

ディスクのマウント時に毎回ドライブ名を指定

ディスクをマウントするたびにドライブ名を指定し直せるように設定することができます。この機能を有効にするには、 [マウント前にドライブ名を選択する] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにしている場合、ディス クのマウント時に毎回ドライブ名を指定するためのダイアログボックスが表示されます。

エラーおよびイベントのログ記録

エラーおよびイベントのログ記録を有効または無効にするには、Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、 [オプション] タブの [エラーおよび処理のログを記録する] チェックボックスのオン/オフを切り替えます。このチェックボッ クスをオンにすると、システム ディスクのルート フォルダに dk_pdapi.log および dk_pd.log files ファイルが表示され、ユ ーザの操作によって発生したエラーやイベントが記録されるようになります。チェックボックスをオフにすると、これらのフ ァイルは表示されず、ログは記録されません。

注意:Windows VistaでUAC機能が有効な場合、Administrator以外ではログファイルを作成できません。

タイムアウト時にディスクを自動的にマウント解除

指定した時間アイドル状態が続いた際に、自動的に仮想暗号化ディスクのマウント解除するように設定することが できます。この機能を有効にするには、Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[オプション] タブの [指定 の期間アイドル時、すべてのディスクのマウントを解除する] チェックボックスをオンにします。次に、右側のボックスでタ イムアウトまでの時間(分)を指定します。この機能を有効にしている場合、指定の期間、ユーザがマウスやキーボ ードを操作しないと、すべてのディスクが自動的にマウント解除されます。

注意: [マウント解除前に開いているファイルをチェックする] を有効にしている場合、仮想ディスク内のファイルを開い ていると、仮想ディスクは自動的にマウント解除されません。しかし、このオプションを無効にすると、ファイルを開いて いるときにも仮想ディスクを自動的にマウント解除されます。

休止状態にする前にディスクを自動的にマウント解除

休止状態にする前にディスクを自動的にマウント解除するように設定することができます。この機能を有効にするに は、Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[オプション] タブの [休止状態にする前にすべてのディスクのマ ウントを解除する] チェックボックスをオンにします。

このオプションを有効にした場合、[スタート] メニューから [シャットダウン]、[休止状態] を選択すると、Dekart Private Disk はすべてのディスクを自動的にマウント解除します。

注意: [休止状態にする前に開いているファイルをチェックする] を有効にしている場合、ファイルを開いていると、仮想ディスクは自動的にマウント解除されずに休止状態になります。ファイルを開いているときにも仮想ディスクを自動的にマウント解除するには、このオプションを無効にしてください。

暗号化キーのバックアップ コピーの自動作成の有効化/無効化

暗号化キーのバックアップを自動的に作成するように設定することができます。この機能を有効にするには、Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[オプション] タブの [暗号化キーのバックアップ コピーを自動作成する] チェックボックスをオンにします。

この機能を有効にした場合、ディスクの暗号化キーの暗号化されたバックアップコピーが作成され、ディスクイメージ のプロパティが変更されるたびに更新されます。データを復号化するためにパスワードを入力する際、Dekart Private Disk はディスクイメージのプロパティの変更を確認し、変更されている場合には、それらをバックアップします。 このようにディスクイメージの暗号化キーとそのプロパティは、最新の状態に保たれます。

暗号化イメージが破損した場合、Dekart Private Diskは、以前に作成したバックアップ コピーを使用してデータに アクセスできるように試みます。

注意: バックアップのパス名およびファイル名を指定して、手動で<u>暗号化キーのバックアップ コピーの作成</u>することもできます。

Dekart Private Disk をシステム サービスとして実行

Dekart Privatg Disk をサービスとして実行するように設定することができます。この機能を有効にするには、Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[オプション] タブの [Private Disk をシステム サービスとして有効にする] チェックボックスをオンにします。

この機能を有効にしている場合、暗号化ドライブのマウント解除やプログラムを終了することなく、ログオフすることが できます。これにより管理者がプログラムをサービスとして実行したり、ディスクをマウントすることができ、権限のない ユーザによりディスクの設定が変更できないようになります。

注意:[プログラムの終了時に確認メッセージを表示しない] チェックボックスをオンにしてご利用ください。また設定後 に、システムの再起動が必要です。なお、リムーバブルドライブから起動しているDekart Private Diskに対し、この 設定は利用できません。

ホットキーの設定

Dekart Private Disk コントロール パネルの [カスタマイズ] タブでは、すべてのディスクを自動的にマウント解除したり、 すべてのディスクを自動的にマウント解除してからプログラムを終了したりするためのホットキーを定義することができ ます。ホットキーを定義するには、[すべてのディスクをマウント解除] および [すべてのディスクをマウント解除して終 了] フィールドで目的のキーの組み合わせを指定します。なお、デフォルトのキーの組み合わせをそのまま使用しても かまいません。

Dekart Private Disk システム トレイ アイコンの変更

Dekart Private Disk コントロール パネルの [カスタマイズ] タブでは、Dekart Private Disk システム トレイ アイコン ("ディスク未マウント時" および "ディスク マウント時")、およびディスク イメージ (<.dpd> 拡張子) アイコンを変更す ることができます。アイコンを変更するには、[ディスク未マウント時のステータス アイコン]、[ディスク マウント時のステ ータス アイコン]、および [仮想暗号化ディスク イメージ] の [変更] をクリックします。

[アイコンの変更] ダイアログボックスで、[参照] をクリックして目的のアイコンを選択します。

デフォルトのアイコンをそのまま使用してもかまいません。

仮想暗号化ディスクの作成

仮想暗号化ディスクを作成するには、以下の手順に従います。

1. Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[ディスク] タブの [作成] をクリックすると、下記のダイアログボ ックスが表示されます (図 14 を参照)。

🔰 新しい仮想暗号化ディスク	N 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10			
ディスク イメージ:	参照(B)			
ドライブ名: Z: 🔽	サイズ: 50 💿 MB			
✓リムーバブル ディスク(M)	□読み取り専用ディスク()			
□ 隠し仮想暗号化イメージΦ	□システム起動時に自動マウント(A)			
□共有を自動的に保存および回	復(5)			
□ 仮想暗号化ディスク イメージへ	のアクセス日時を隠す(C)			
	デフォルト(z戻す(<u>F</u>)			
□高速作成(Q) (仮想暗号化ディスクイメージにランダム データを書き込まない)				
	作成(<u>R</u>) キャンセル			
	図 14			

新しいディスクの作成

- 2. [新しい仮想暗号化ディスク]ダイアログボックスで、以下のいずれかの操作を実行します。
 - 新しいディスクの作成をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。
 - 新しいディスクの作成を続行するには、[ディスク イメージ] フィールドの [参照] をクリックします。[仮想暗号 化ディスク イメージ] ダイアログボックスが表示されます (図 15 を参照)。ディスク イメージの作成先を指定し、 [ファイル名] フィールドに名前を入力して、[保存] をクリックします。

🚺 仮想暗号化ディ	スク イメージ							? 🔀
保存する場所型:	🛅 Private Disk		~	G	ø	Þ	•	
よび使ったファイル して、 デスクトップ マイドキュメント マイニンピュータ	Changes.txt compress.dll dkhook.dll dpd.inf FileFinder.dll licence.txt pd_lang.dll pdapi.dll pdapi.dll PDFileMove.exe PDFileMove.exe pdfilter.sys pdfilter.vxd pdfilteramd64.sys	pdfilteria64.sys pdrjndl.sys pdrjndl.vxd pdrjndlamd64.sys pdrjndla64.sys pdrjndla64.sys PrivateDisk.dll PrvDisk.chm PrvDisk.exe PrvDisk.ini prvdisk.sys prvdisk.sys prvdisk.add4.sys prvdiskamd64.sys prvdiskia64.sys readme.txt	🧕 unicows.dll					
マイ ネットワーク	ファイル名(N):						~	保存(<u>S</u>)
	ファイルの種類(工):	すべてのファイル (*.*)					~	キャンセル
		図 15						

ディスク イメージの作成

ディスク イメージの保存先としてネットワークを指定しようとすると、ネットワーク リソースにアクセスするためのパス ワードの入力を求められます (図 16 を参照)。

hope に接続	? 🛛
	TAT
Hope (ご接続中	
ユーザー名(山)	1 HOPE/Guest
パスワード(<u>P</u>):	
	パスワードを記憶する(B)

ネットワークリソースへのアクセス用パスワードの入力

[ユーザ名] および [パスワード] フィールドにユーザ名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。指定したフォルダに同名のファイルが既に存在する場合、ファイルを上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます (図 17 を参照)。

🚺 仮想	音号化ディスク イメージ			
♪	C.¥Documents and Settings¥nextedge¥デスクトップ¥private.dpd は既に存在します。 上書きしますか?			
図 17				

ファイルの上書き確認

注意: [はい] をクリックして既存のファイルを上書きすると、このファイルに関連付けられている既存の仮想暗号 化ディスクが失われますので注意してください。

[いいえ] をクリックすると、ディスク イメージの作成は中止されます。この場合、ディスクの作成を続行するには、 [仮想暗号化ディスク イメージ] ダイアログボックスで別のディスク イメージ名を指定する必要があります。

〔新しい仮想暗号化ディスク〕ダイアログボックスの [ドライブ名] ドロップダウン リストでシステム内のディスクを識別するドライブ名を選択します (図 14 を参照)。 [サイズ] フィールドで、ディスク イメージの保存先のディスク空き 容量に応じて、作成する仮想暗号化ディスクのサイズ (MB)を指定します。

新たに作成する仮想暗号化ディスクには、いくつかのプロパティを設定することができます。なお、これらのプロパ ティは後で設定することもできます(「<u>仮想暗号化ディスクのプロパティの変更</u>」を参照)。新しいディスクの作成 時にディスクのプロパティを設定するには、以下のチェックボックスをオンにします。

- ・リムーバブル ディスク 新たに作成するディスクに <リムーバブル> 属性を設定します。
- ・隠し仮想暗号化イメージ ディスクのディスクイメージに <隠し> 属性を設定します。
- ・読み取り専用ディスク ディスクに <読み取り専用> 属性を設定します。
- ・共有を自動的に保存および回復 ディスクのコンテンツへのネットワーク アクセス権が自動的に保存および 回復されます(「<u>仮想暗号化ディスクの共有</u>」を参照)。

- ・システム起動時に自動マウント ディスクはオペレーティングシステムの起動時にマウントされます。この場合、 Dekart Private Disk コントロール パネルの [オプション] タブの [システム起動時に自動的に実行する] チェッ クボックスが自動的にオンになります (図 13 を参照)。
- ・仮想暗号化ディスクイメージへの最終アクセス日時を消去 ディスクをマウント解除したときに、最終アクセス日時がその作成日時に変更されます。つまり、仮想暗号化ディスクを前回いつ使用したかを他者に特定されることがなくなります。
- 4. [作成] をクリックします。仮想暗号化ディスクを保護するためのパスワードの入力を求められます(図 18 を参照)。[パスワード] フィールドにパスワードを入力して、[確認] フィールドに同じパスワードをもう一度入力します。



図 10 仮想暗号化ディスクへのアクセス用パスワードの入力

注意:パスワードは最低 5 文字(最大 64 文字)で入力する必要があります。5 文字未満のパスワードは使用 できません。パスワードに使用できる文字は半角英数字と半角記号で、大文字/小文字が区別されます。他 者に推測されにくいパスワードを入力するようにしてください。

パスワードに関する推奨事項については、「<u>Dekart Private Disk でセキュリティを強化するための推奨事項</u>」を 参照してください。

注意 1: 入力したパスワードと確認用パスワードが一致しない場合、パスワードをもう一度入力するように求めるメッセージが表示されます。[パスワード] および [確認] フィールドには完全に一致するパスワードを入力してください。

注意 2: パスワードの強度は暗号化の観点から分析され、分析結果は [パスワード強度] バーに表示されます。 なお、推定強度は、0~100%の数値、およびバーの色の変化 (緑が強度の高いパスワード、赤が強度の低い パスワード) で表されます。

- 5. ディスクの作成処理を高速で実行するには、「高速作成] チェックボックスをオンにします。この場合、ディスク イ メージにはランダム データは書き込まれません。
- 6. [OK] をクリックします。ディスク イメージの作成処理が開始され、処理の進捗を示す特別なダイアログボックス が表示されます (図 19 を参照)。

🌠 新しい仮想暗号化ディスクの作成中 🛛 🔀
推定時間:8秒
34%
キャンセル
図 19

ディスクイメージ作成処理の進捗

作成処理を中止するには、[キャンセル] をクリックします。この場合、作成処理を中止するかどうかを確認する メッセージが表示されます (図 20 を参照)。



ディスクイメージ作成処理の中止

このダイアログボックスでは、以下の操作を実行することができます。

o ディスクイメージの作成処理を続行するには、[いいえ]をクリックします。

o ディスク イメージの作成処理を中止するには、[はい] をクリックします。

ディスク イメージが正常に作成されると、ディスクをフォーマットするように求めるメッセージが表示されます (図 21 を 参照)。

📕 Deka	rt Private Disk 🛛 🔀
⚠	新しい仮想暗号化ディスクが正常に作成されました。 このディスクをフォーマットするには、[OK] をクリックしてください。
	OK
	図 21
	ディスクのフォーマット要求

フォーマットを開始するには、[OK] をクリックします。[フォーマット] ダイアログボックスが表示されます (図 22 を参照)。

🕅 ७४-२७१- 🔹 🤶 🔀
容量(<u>P)</u> :
50.0 MB 💌
ファイル システム(E)
NTFS 💌
アロケーション ユニット サイズ(<u>A</u>)
標準のアロケーション サイズ 🛛 👻
ボリューム ラベル(山)
✓ クイック フォーマット(Q)
□ 圧縮を有効にする(E)
MS-DOS の起動ディスクを作成する(M)
開始S) 閉じる(C)
図 22

[フォーマット] ダイアログボックス

8. 目的のフォーマット パラメータを指定して (または、デフォルト設定のまま)、[開始] をクリックします。 ディスクのす べてのデータが削除されることを示す 警告メッセージが表示されます (図 23 を参照)。.

📕 フォー	マット − 🔀
♪	警告: フォーマットするとこのディスクのすべてのデータが消去されます。 ティスクをフォーマットするには [OK] を、終了する場合は [キャンセル] をクリックしてください。
	OK キャンセル
	図 23
	フォーマット警告メッセージ

9. [OK] をクリックして、ディスクのフォーマットが完了するまで待機します。フォーマットが完了したら、[フォーマット] ダイアログボックスを閉じます。これで、仮想暗号化ディスクの作成処理が完了したことになります。作成された ディスクは自動的に有効になり、そのアイコンが Windows エクスプローラに表示されます (図 24 を参照)。



作成された仮想暗号化ディスク - Windows エクスプローラ

注意: [キャンセル] をクリックしてフォーマットをキャンセルすると、ディスクの作成処理は中止されます。



作成された仮想暗号化ディスク - Dekart コントロール パネル

Dekart Private Disk でセキュリティを強化するための推奨事項

個人情報の保護を強化するために、以下の推奨事項に従うことをお勧めします。

1. 仮想暗号化ディスクへのアクセス用パスワードには短いパスワードは使用しないでください。大文字/小文字、数字、記号をランダムに組み合わせた 8 文字程度のパスワードが最適です。パスワードは記憶しておくことを心がけ、 メモに残したり、またそのメモをコンピュータの近くに置くことは避けてください。

2. 仮想暗号化ディスクのバックアップ コピーを定期的に作成するようにしてください。ディスク イメージが紛失したり 破損した場合でも、バックアップ コピーを使用して、データをレストアすることができます (「<u>仮想暗号化ディスクのバッ</u> <u>クアップ</u>」および「<u>仮想暗号化ディスクのレストア</u>」を参照)。

3. 暗号化キーのバックアップ コピーを作成するようにしてください。仮想暗号化ディスクへのアクセス用パスワードを 忘れてしまった場合でも、バックアップ コピーを使用して、ディスクへのアクセスをレストアすることができます(「<u>暗号</u> <u>化キーのバックアップ コピーの作成</u>」および「<u>仮想暗号化ディスクの暗号化キーのバックアップ コピーからのレストア</u>」 を参照)。更に、[<u>暗号化キーのバックアップ コピーを自動作成する</u>] チェックボックスをオンにすると、自動的にコピー が作成されます。 4. 短期間でも席を外す場合は、すべての仮想暗号化ディスクをマウント解除するようにしてください(「<u>仮想暗号化</u> <u>ディスクのマウント/マウント解除</u>」を参照)。

5. 暗号化データの保護を詳細に定義するには、仮想暗号化ディスク上のデータへのアクセスを許可するアプリケー ションのホワイトリストを作成してください(「<u>仮想暗号化ディスクへのアクセスを許可するアプリケーションの管理</u>」を 参照)。

6. 不要な仮想暗号化ディスクイメージは Dekart Private Disk の特別な機能を使用して削除するようにしてください(「<u>仮想暗号化ディスクの削除</u>」を参照)。この機能を使用した場合、削除前にディスクイメージにランダム データが書き込まれ、元のデータをレストアすることはできません。

仮想暗号化ディスクのプロパティの変更

仮想暗号化ディスクの論理名(ドライブ名)、ディスク パラメータ、またはアクセス用パスワードを変更するには、 Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[ディスク] タブの [プロパティ] をクリックします。 プロパティを変更す るディスクのディスク イメージを選択します (図 26 を参照)。

📕 仮想暗号化ディ	しかのマウント			? 🗙
ファイルの場所型:	🚞 Dekart.com - Document	✓ ④	🌶 📂 🖽	
していていていていていた。 最近使ったファイル	p⊄ Dekart.dpd			
ごう デスクトップ				
ک ۲۲ ۴キ۱メント				
ער דא 😨				
र् २१ २७-७	ファイル名(N): Dekart.dpd ファイルの種類(T): 仮想暗号化ディスク 読み取り専用ファ	リファイル (*.dpd) マイルとして開く(<u>R</u>)	✓✓	開(<u>(</u>) キャンセル
	 叉	26		.::

ディスクイメージの選択

パスワードの入力を求められます (図 27 を参照)。

🎦 復号化パスワード	×
D:¥Dekart.com – Document¥Dekart.dpd	
パスワード	
□変更	
<u> QK</u> キャンセル)
図 27	

プロパティを変更するためのアクセス用パスワードの入力

正しいパスワードを入力して [OK] をクリックすると、 [仮想暗号化ディスクのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます (図 28 を参照)。

🕅 仮想暗号化ディスクのブロパティ 🛛 🔁
ディスク イメージ: D:¥Dekart.com - Document¥Dekart.dpd
ドライブ名: Z: 💌 サイズ: 50 MB
▼リムーバブル ディスク(M) □ 読み取り専用ディスク(Q)
□ 隠し仮想暗号化イメージΦ □ システム起動時に自動マウント(A)
□ 共有を自動的に保存および回復(S)
✓ 飯想暗号化ディスクイメージへのアクセス日時を隠す(C)
デフォルトに戻す(<u>F</u>)
パスワード(<u>P</u>) 変更 キャンセル

図 28

[仮想暗号化ディスクのプロパティ] ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、以下の操作を実行することができます。

- ・ ディスクのプロパティの変更を中止するには、[キャンセル]をクリックします。
- ドライブ名を変更するには、[ドライブ名] ドロップダウン リストで新しいドライブ名を選択します。
- ・ ディスクのディスクイメージを隠すには、[隠し仮想暗号化イメージ]チェックボックスをオンにします。
- ・ ディスクを読み取り専用モードでマウントするには、[読み取り専用ディスク]チェックボックスをオンにします。
- ディスクを "リムーバブル ディスク" に設定するには、[リムーバブル ディスク] チェックボックスをオンにします。逆に、"固定ディスク" に設定するには、このチェックボックスをオフにします (Outlook Express のメール基盤を仮想暗号化ディスクに移行したり、ディスク上でごみ箱を有効にしたりする場合に必要)。
- オペレーティング システムの起動時(ログオン時)ニディスクを自動的にマウントするには、[システム起動時に自動マウント] チェックボックスをオンにします。
- ディスクのコンテンツへのネットワーク アクセス権を自動的に保存および回復するには、[共有を自動的に保存および回復] チェックボックスをオンにします (「仮想暗号化ディスクの共有」を参照)。

- ディスクをマウント解除したときに、ディスクイメージへの前回のアクセス日時をその作成日時にリセットするには、[仮想暗号化ディスクイメージへの最終アクセス日時を消去]チェックボックスをオンにします。
- ディスクへのアクセス用パスワードを変更するには、「パスワード」をクリックして、「暗号化パスワード」ダイアログボックスで、新しいパスワードを入力します。

変更を適用するには、[変更]をクリックします。

注意: [サイズ] フィールドの値を変更することはできません。

仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除

仮想暗号化ディスクで作業するには、最初にディスクを "マウント(接続)" して、コンピュータの Windows システム で認識可能にする必要があります。 仮想暗号化ディスクをマウントする (ディスクにアクセス可能にする) には、 Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、 [ディスク] タブの [マウント] をクリックします。 次に、 [仮想暗号化 ディスクのマウント] ダイアログボックスで、目的のディスクのディスク イメージを選択して、 [開く] をクリックします。 パス ワードの入力を求められます (図 29 を参照)。

🌠 復号化パスワード	×				
D:¥Dekart.com – Document¥Dekart.dpd					
パスワード					
□変更					
<u>O</u> K キャンセル					
図 29					

仮想暗号化ディスクへのアクセス用パスワードの入力

パスワードを入力したら、仮想暗号化ディスクがマウントされてディスクとしてシステムで認識されることで、コンピュータのその他のドライブと同じように使用できるようになります。

注意: ディスク イメージをネットワーク ドライブに保存している場合、ネットワーク リソースへのアクセス用パスワードの入力を求められます。この場合、[パスワード] フィールドにパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。

注意: [<.dpd> ファイル拡張子に関連付ける] チェックボックスをオンにしている場合、Windows エクスプローラでディ スク イメージをダブルクリックするだけで、ディスクをマウントすることができます。

仮想暗号化ディスクでの作業を終了する (ディスクをマウント解除する) には、ディスク タブ ([<ドライブ名>:¥])の [マ ウント解除] をクリックします。

[変更] チェックボックスをオンにすると、現在のパスワードを入力後、ディスクのパスワードを変更することができます。

複数の仮想暗号化ディスクを同時に使用したい場合も考えられます。この場合、[ディスク] タブの [マウント] をクリ ックして、別のディスク イメージを選択します。

pti c)ekart P	rivate Disk	
Y:¥	Z:¥	ディスク オプション リカバリ カスタマイズ	
	2	暗号化ディスクをオペレーティングシステムからマウント解除しま す。	マウント解除(<u>D</u>)
	B	仮想暗号化ディスクをエクスプローラで開きます。	エクスプローラ(E)
	Ŷ	ディスクへのアクセスを許可するプログラムのリストを表示および 編集します。	ファイアウォール(<u>F</u>)
		ディスクのマウント時に自動的に実行するプログラムのリストを 表示および編集します。	自動実行(<u>A</u>)
		ディスクのマウント解除時に自動的に実行するプログラムのリス トを表示および編集します。	自動終了(U)
		現在マウント中の仮想暗号化ディスクのプロパティを表示しま す。	' 唐 幸服①
15	ージョン情報		 開じる(<u>C</u>)
		W 00	

図 30 複数の仮想暗号化ディスクでの作業

注意:新しい仮想暗号化ディスクのマウント時にそのドライブ名が別のディスクで既に使用されている場合、別のド ライブ名を選択するように求めるダイアログボックスが表示されます (図 31 を参照)。この場合、別のドライブ名を選 択して、[OK] をクリックしてください。



別のドライブ名の選択

仮想暗号化ディスクでの作業を終了するには、各ディスクタブ ([<ドライブ名>:¥])の [マウント解除] をクリックします。

ポップアップ メニューを使用して仮想暗号化ディスクをマウント/マウント解除することもできます。このメニューを表示 するには、Dekart Private Disk システム トレイ アイコンを右クリックします。このメニューから目的の操作を選択しま す (図 32 を参照)。複数のディスクをマウントしている場合に特定のディスクをマウント解除するには、[ディスクのマ ウント解除] から目的のドライブ名を選択してください。



ポップアップ メニューを使用した仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除

現在マウントしているすべてのディスクをマウント解除するには、[すべてのマウント解除]をクリックします。

仮想暗号化ディスクをマウント解除するもう1つの方法として、Dekart Private Disk のオプションで処理を自動化 する方法があります(「<u>タイムアウト時にディスクを自動的にマウント解除</u>」および「<u>休止状態にする前にディスクを自</u> <u>動的にマウント解除</u>」を参照)。この場合、指定の期間コンピュータを操作しなかったり、またはコンピュータを休止 状態にしたときに、すべてのディスクが自動的にマウント解除されます。**注意**: [マウント解除前に開いているファイル <u>をチェックする</u>] オプションを有効にしても、仮想暗号化ディスク内のファイルが使用中の場合、マウント解除されませ ん。

データの喪失を避けるためにも、ディスクのマウント解除前に、ディスク上のデータを使用しているすべてのアプリケー ションを終了するようにしてください。

ドラッグ アンド ドロップ操作での仮想暗号化ディスクのマウント

仮想暗号化ディスクはドラッグ アンド ドロップ操作でマウントすることもできます。この場合、ディスク イメージを Dekart Private Disk コントロール パネル、Private Disk ショートカット、または Private Disk アプリケーション アイコ ンにドラッグ アンド ドロップします。ファイルをドラッグ アンド ドロップすると、そのディスクへのアクセス用パスワードの入 力を求められます。

仮想暗号化ディスクのステータス

Dekart Private Disk アイコンは、タスクバーの右端のシステム トレイに配置されています。このアイコンは仮想暗号 化ディスクの現在のステータスを示しており、ディスクのマウント中は *"*黄"、マウント解除時は *"*青" に変わります (図 33 を参照)。





ステータスを "マウント解除" から "マウント中" に変更するには、「<u>仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除</u>」の 説明に従ってディスクをマウントします。

ステータスを "マウント中" から "マウント解除" に変更するには、「<u>仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除</u>」の 説明に従ってディスクをマウント解除します。

注意: 何らかのアプリケーションで仮想暗号化ディスク上のデータを使用している場合は、ディスクをマウント解除しないでください。この場合、該当するアプリケーションを終了してからディスクをマウント解除してください。

ディスクへのアクセス用パスワードの変更

暗号化ディスクのパスワード変更方法は、以下のように2通りあります。

- 1. 暗号化ディスクをマウントします
- 2. [パスワード入力] ダイアログボックスの [変更] チェックボックスをオンにします
- 3. 画面に表示された<u>ダイアログボックス</u>に新しいパスワードを入力して、[確認] フィールドに同じパスワードをもう一 度入力します。
- 4. [OK] をクリックします。

もう1 つの方法は、コントロールパネルを開き、[ディスク] タブに切り替え、パスワードを変更します。

仮想暗号化ディスクをエクスプローラで開く

マウント後の仮想暗号化ディスク上のコンテンツは、Windows エクスプローラで表示したり、操作したりすることがで きます。Windows エクスプローラを開くには、以下のいずれかの操作を実行します。 1. ディスク タブ ([<ドライブ名>:¥]) の [エクスプローラ] をクリックします。 2. システム トレイ アイコンを右クリックして、[エクスプローラで開く] から目的のドライブ名を選択します。

仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除時に自動的に実行するプログラムの管理

Dekart Private Disk では、仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除時に自動的に実行するプログラムを定義 することができます。

自動実行

仮想暗号化ディスクのマウント時にディスクから自動的に実行するプログラムのリストを編集するには、ディスク タブ ([<ドライブ名>:¥])の[自動実行]をクリックします。[自動実行プログラム]ダイアログボックスが表示されます。

リストに新しいプログラムを追加するには、[追加] をクリックします。[自動実行プログラムの追加] ダイアログボックス が表示されます。ディスクのマウント時に実行するファイルを選択して、[OK] をクリックします。[自動実行プログラム] ダイアログボックスの自動実行プログラムのリストに、指定したプログラムが追加されます。 リストからプログラムを削除するには、プログラムを選択して、[削除]をクリックします。

注意: 自動実行機能を有効にするには、[自動実行を有効にする] チェックボックスをオンにしてください。このチェッ クボックスをオフにしている状態では、リストにプログラムを追加していても、自動実行機能は適用されません。

リストの編集が終了したら、[OK]をクリックします。

自動終了

仮想暗号化ディスクのマウント解除時にディスクから自動的に実行するプログラムのリストを編集するには、ディスク タブ ([<ドライブ名>:¥]) の [自動終了] をクリックします。[自動終了プログラム] ダイアログボックスが表示されます。

リストに新しいプログラムを追加するには、[追加] をクリックします。[自動終了プログラムの追加] ダイアログボックス が表示されます。ディスクのマウント解除時に実行するファイルを選択して、[OK] をクリックします。[自動終了プログ ラム] ダイアログボックスの自動終了プログラムのリストに、指定したプログラムが追加されます。

リストからプログラムを削除するには、プログラムを選択して、[削除]をクリックします。

注意: 自動終了機能を有効にするには、[自動終了を有効にする] チェックボックスをオンにしてください。このチェックボックスをオフにしている状態では、リストにプログラムを追加していても、自動終了機能は適用されません。

リストの編集が終了したら、[OK]をクリックします。

設定の変更を適用するには、ディスクをマウントし直す必要があります。この際、ディスクをマウント解除しようとすると、変更内容を示すメッセージが表示されます。変更を確定するには、パスワードを入力する必要があります。

仮想暗号化ディスクへのアクセスを許可するアプリケーションの管理

Dekart Private Disk には、仮想暗号化ディスクへのアクセスを許可するアプリケーションを管理するための機能が備わっています。この機能を使用するには、以下の手順に従います。

- 1. ディスクをマウントします。
- 2. コントロール パネルのディスク タブ ([<ドライブ名>:¥]) に切り替えます。
- 3. [ファイアウォール] をクリックします。

[許可プログラム] ダイアログボックスが表示されます。許可プログラムのリストにアプリケーションを追加するには、[追加] をクリックして、ディスクへのアクセスを許可するアプリケーションを指定します。同じ手順を繰り返して、複数のア プリケーションを追加することができます。目的のアプリケーションをすべて追加したら、[OK] をクリックします。

許可プログラムのリストを更新するには、トレーニング モードを有効にする必要があります。このチェックボックスをオン にしている場合、新しいプログラムが仮想ディスクヘアクセスしようとすると、それを許可するか拒否するかを選択する ダイアログボックスが表示されます。注意: ディスクへのアクセスを許可したプログラムは、次回 [許可プログラム] ダイ アログボックスを開いたときに、許可プログラムのリストに表示されます。 データのセキュリティを更に高めるには、[プログラムの整合性チェック] チェックボックスをオンにします。この機能を有 効にしている場合、許可プログラムが許可プログラムのリストに追加された時点から変更されていないかを検証しま す。

リストからアプリケーションを削除するには、アプリケーションを選択して、「削除」 をクリックします。目的のアプリケーションをすべて削除したら、「OK] をクリックします。

注意: ファイアウォール機能を有効にするには、[ファイアウォールを有効にする] チェックボックスをオンにします。このチ ェックボックスをオフにしている状態では、リストにアプリケーションを追加していても、ファイアウォール機能は適用され ません。

設定の変更を適用するには、ディスクをマウントし直す必要があります。この際、ディスクをマウント解除しようとすると、変更内容を示すメッセージが表示されます。変更を確定するには、パスワードを入力する必要があります。

新しい設定は、次回ディスクをマウントしたときに適用されます。

仮想暗号化ディスクのマウント時に自動的に開くファイルの管理

Dekart Private Disk では、仮想暗号化ディスクのマウント時に特定のファイル(たとえば、MS Word 文書、画像) を自動的に開くように設定することができます。

詳細については、「仮想暗号化ディスクへのアクセスを許可するアプリケーションの管理」および「仮想暗号化ディス」 クのマウント/マウント解除時に自動的に実行するプログラムの管理」を参照してください。

仮想暗号化ディスクのパラメータの表示

現在マウントしている仮想暗号化ディスクのパラメータを表示するには、コントロール パネルを開き、ディスク タブ ([< ドライブ名>:¥])の [情報] をクリックします。[ディスク情報] ダイアログボックスに、指定したディスクの詳細情報が表 示されます。

Dekart Private Disk のコマンドラインでの操作

Dekart Private Disk は、以下のコマンドラインを使用して操作することもできます。

..¥PrvDisk.exe [¥オプション][:パラメータ]

コマンドラインで使用できるオプションは以下のとおりです。

/minimize 起動時にプログラムをシステム トレイに最小化します。

/path:ディスクイメージ名 指定したイメージの仮想暗号化ディスクをマウントします。

∕password:パスワード	指定したパスワードを使用して仮想暗号化ディスクをマウントしま す。
/symbol:ドライブ名	指定したドライブに仮想暗号化ディスクをマウントします。
/dismount	すべての仮想暗号化ディスクをマウント解除します。
/dismount:ドライブ名	指定したドライブから仮想暗号化ディスクをマウント解除します。
/unload	確認メッセージを表示せずに、すべての仮想暗号化ディスクをマウ ント解除して、プログラムを終了します。
/nosystray /nohotkeys	システム トレイ アイコンを隠します。 Dekart Private Disk のホットキーを無効にします。
/noexitdialog	プログラムの終了時に確認メッセージを表示しません。
/logfile	システム ディスクのルート (たとえば、"C:¥") にエラー ログ ファイル (dk_pd.log および dk_pdapi.log)を作成します。
/properties:ディスク イメージ名	指定したイメージの仮想暗号化ディスクのプロパティを変更しま す。
/ROD	仮想暗号化ディスクに <読み取り専用ディスク> プロパティを設定 します。
/RD	仮想暗号化ディスクに <リムーバブル ディスク> プロパティを設定し ます。
/HFI	仮想暗号化ディスクに <隠し仮想暗号化イメージ> プロパティを 設定します。
/CSS	仮想暗号化ディスクに <システム起動時に自動マウント> プロパテ ィを設定します。
/passwordnew:新しいパスワード	仮想暗号化ディスクのパスワードを、指定したパスワードに変更し ます。
/create:ディスク イメージ名	指定したイメージの仮想暗号化ディスクを作成します。
/size:ディスク サイズ	指定したサイズの仮想暗号化ディスクを作成します。
/FS:FAT FAT32 NTFS	指定したファイル システム(FAT/FAT32/NTFS)で仮想暗号化 ディスクを作成します。
/erase:ディスク イメージ名	指定したイメージの仮想暗号化ディスクを削除します。

<u>コマンドライン サンプル</u>

```
1. ディスクの作成
```

PrvDisk.exe /create:C:¥disk.dpd /passwordnew:12345 /RD /HFI /symbol:Z /size:100 /FS:FAT /minimize

2. ディスクのマウント

PrvDisk.exe /path:C:¥disk.dpd /password:12345 /minimize

3. ディスクのマウント解除

PrvDisk.exe /dismount:Z

4. ディスクのプロパティの変更

PrvDisk.exe /properties:C:¥disk.dpd /password:12345 /passwordnew:67890 /RD /symbol:Y /minimize

5. ディスクの削除

PrvDisk.exe /erase:C:¥disk.dpd /password:67890 /minimize

6. スクリプトの実行

PrvDisk.exe /script:C:¥script.txt script.txt ファイル内のコマンド

/create:C:¥disk.dpd /passwordnew:12345 /RD /HFI /symbol:Z /size:100 /FS:FAT /minimize /dismount:Z

/path:C:¥disk.dpd /password:12345 /minimize /dismount:Z

/properties:C:¥disk.dpd /password:12345 /passwordnew:67890 /RD /symbol:Y /minimize /path:C:¥disk.dpd /password:67890 /minimize /dismount:Y /erase:C:¥disk.dpd /password:67890 /minimize

注意: 長いフォルダ名/ファイル名を使用している場合は、二重引用符 (^{""}) で囲んで入力してください (例: /path:["]my secret data.dpd["])。

仮想暗号化ディスクの共有

Dekart Private Disk で作成した仮想暗号化ディスクはネットワークで共有することができます。仮想暗号化ディス クを共有するには、ディスク イメージの保存先のコンピュータであらかじめ対象のディスクをマウントしておく必要があ ります (「仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除」を参照)。次に、標準的な Windows OS ユーティリティを使 用して、(従来のドライブを共有する場合と同じように)共有設定を有効にします。

注意: ディスクをマウント解除すると、他のユーザからのアクセスもすべて遮断され、処理中のデータが失われる可能性があります。

ディスクの共有設定を有効にするには、以下の手順に従います (Windows XP の場合)。

- ・ [マイ コンピュータ] をダブルクリックします。
- [マイ コンピュータ] ウィンドウで、仮想暗号化ディスクを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。[共有] タブの [ネットワーク上での共有とセキュリティ] セクションで共有設定を有効にして、[適用] をクリックします (図 34 を参照)。

リムーバブル ディスク (Z:)のブロパティ 🛛 💽 🔀
全般 自動再生 ツール ハードウェア 共有 セキュリティ クォータ
このフォルダをネットワーク上のほかのユーザーと共有できます。このフォ ルダを共有するには [このフォルダを共有する] をクリックしてください。
 ○このフォルダを共有しない(N) ○このフォルダを共有する(S)
共有名(H): Z
الالك (@)+//kc):
ユーザー数制限: 💿 無制限(M)
○許可するユーザー数(₩):
ネットワークを経由してこのフォルダにアクセスするユー ザーのためにアクセス許可を設定するには、「アクセス 許可]をクリックしてください。
オフライン アクセスの設定を構成するには、「キャッシュ」 キャッシュ(G) をクリックしてください。
このフォルダを、ネットワーク上の他のコンピュータと共有できるよう、Windows ファイアウォールは構成されています。
<u>Windows ファイアウォールの設定を表示します。</u>
OK キャンセル 適用(A)

仮想暗号化ディスクの共有設定

仮想暗号化ディスクのバックアップ

Dekart Private Disk には、仮想暗号化ディスクのバックアップ コピーを作成するための機能が備わっています。ディ スクが破損したり、間違って削除してしまった場合でも、このバックアップ コピーを使用すれば、簡単にデータをレスト アすることができます。 バックアップ コピーは圧縮および暗号化された状態で保存されます。バックアップ コピーの暗号化には、特別な暗 号化パスワード(代替アクセス用パスワード)が使用されます。なお、この代替アクセス用パスワードはデータをレスト アするときに必要になります。

バックアップコピーを作成するには、以下の手順に従います。

- 1. Dekart Private Disk コントロール パネルの [リカバリ] タブに切り替えます。
- 2. [バックアップ] をクリックします。
- 3. バックアップコピーを作成する仮想暗号化ディスクのディスクイメージを指定します。
- 4. 仮想暗号化ディスクのパスワードを入力します。
- 5. [仮想暗号化ディスクのバックアップ ファイル] ダイアログボックスが表示されます (図 35 を参照)。

📕 仮想暗号化ディ	スクのバックアップ フィ	?∱J↓				? 🛛
保存する場所①:	🚞 Dekart.com – Do	cument	~	3 🕫 🛙	>	
していていていた。 最近使ったファイル	pt Dekart.dpd					
ご ろうし しょうし しょうし しょうし しょうし ひょうし ひょうし ひょうし ひょ						
کر ارکار ۲۲						
ער גאר ארבאעב אד						
マイ ネットワーク	ファイル名(<u>N</u>):				~	保存(<u>S</u>)
	ファイルの種類(工):	すべてのファイル (*.*)			*	キャンセル

図 35 仮想暗号化ディスクのバックアップ

- 6. バックアップ コピーの保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。 バックアップ コピーへの代替アクセス用パスワードの入力を求められます。
- 「パスワード] フィールドに代替アクセス用パスワードを入力して、「確認」 フィールドに同じパスワードをもう一度入力します。パスワードは最低 5 文字 (最大 64 文字)で入力する必要があります。5 文字未満のパスワードは使用できません。
 注意 バットマップ フピークの代替フトトス 円パスワードに使用できる 立向は光 免許 教育と光 免許見て、古文

注意: バックアップ コピーへの代替アクセス用パスワードに使用できる文字は半角英数字と半角記号で、大文字/小文字が区別されます。他者に推測されにくいパスワードを入力するようにしてください。

仮想暗号化ディスクのレストア

Dekart Private Disk には、仮想暗号化ディスクの既存のバックアップコピー(「仮想暗号化ディスクのバックアップ」 を参照)からデータをレストアするための機能が備わっています。

バックアップ コピーからデータをレストアするには、以下の手順に従います。

1. 既存の仮想暗号化ディスクをマウントするか(「<u>仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除</u>」を参照)、新しい ディスクを作成します(「<u>仮想暗号化ディスクの作成</u>」を参照)。バックアップ コピーのデータはこのディスクにレスト アされます。 注意: バックアップ コピーのデータは、元のディスクにレストアすることも、他のディスクまたは新たに作成したディス クにレストアすることもできます。ただし、元のディスクにレストアする場合以外は、代替アクセス用パスワードが 必要になります。また、指定したディスクにデータをレストアできるだけの十分な空き容量が必要になります。こ の機能を使用すると、元のディスクのディスク イメージを喪失した場合でもデータのレストアが可能になります。 なお、バックアップ コピーのデータは仮想暗号化ディスクにのみレストアすることができます。また、既存の仮想暗 号化ディスクにバックアップ コピーのデータをレストアする場合は、現在のデータがすべて削除されます (バックアッ プコピーのデータで上書きされます)ので注意してください。

2. Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[リカバリ] タブの [レストア] をクリックします。 [仮想暗号化ディスクのレストア ファイル] ダイアログボックスが表示されます (図 36 を参照)。

🚺 仮想暗号化ディ	スクのレストア ファイル	? 🗙
ファイルの場所型:	🗁 Dekart.com - Document 🛛 🕥 🤣 📂 🖽 -	
していたつたつアイル	Dekart.dpd	
び デスクトップ		
ک ۲۲ ۴キュメント		
ארי דאר א ד אר בארב אד		
ي جز غولت-م		
የ1 ሐሃዮፓቸታ	ファイル名(N): マ 目 ファイルの種類(T): すべてのファイル (**) マ	11100 パンセル
	EXI 26	

バックアップ コピーからのデータのレストア

対象のバックアップ コピーを選択して、[開く] をクリックします。
 マウントした仮想暗号化ディスクがバックアップ コピーと対応しない場合、代替アクセス用パスワードの入力を求められます。

注意: バックアップ コピーへの代替アクセス用パスワードは、半角英数字(大文字/小文字を区別)と半角記 号で構成されます。間違わずに入力するようにしてください。データのレストア前に、現在の仮想暗号化ディスク のデータがすべて削除されることを示す警告メッセージが表示されます(図 37 を参照)。

🚺 仮想暗号化ディスクの削除 🔛
<u> </u> 続行しますか?

仮想暗号化ディスクのデータの削除警告メッセージ

4. [はい]をクリックすると、現在のディスクのすべてのデータが削除され、レストア処理が開始されます。

仮想暗号化ディスクの削除

仮想暗号化ディスクを削除すると、その中に含まれるすべてのデータも永久的に削除されます。この場合、削除前 にディスク イメージにランダム データが書き込まれ、元のデータをレストアすることはできません。

仮想暗号化ディスクを削除するには、以下の手順に従います。

- 1. 仮想暗号化ディスクをマウント解除(マウントしている場合)します(「<u>仮想暗号化ディスクのマウント/マウント</u> 解除」を参照)。
- 2. Dekart Private Disk コントロール パネルを開き、[ディスク] タブの [削除] をクリックします。
- 3. [仮想暗号化ディスクの削除]ダイアログボックスで、削除するディスクを選択して、[開く]をクリックします。
- 4. パスワードの入力を求められたら、パスワードを入力して、[OK] をクリックします。

ディスクの情報を示すダイアログボックスが表示されます(図 38 を参照)。

📕 仮想暗号化ディスクの削除			×	
ディスク イメージ: D¥Dekart.com - Document¥ol.dpd				
ドライブ名: Z:	サイズ: 1	MB		
▼リムーバブル ディスク(M)	□読み取り専用ディスク(0))		
□ 隠し仮想暗号化イメージΦ	▼システム起動時に自動マ	ウント(A)		
□共有を自動的に保存および回行	復(<u>S</u>)			
┃ □ 仮想暗号化ディスクイメージへ	のアクセス日時を隠す(<u>C</u>)			
	削除(<u>D</u>)	キャンセル		
	图 20			

削除対象ディスクの情報

ディスクを削除するには、[削除] をクリックします。削除を確認するメッセージが表示されます (図 39 を参照)。
 注意: [キャンセル] をクリックすると、ディスクの削除は中止されます。

🚺 仮想暗号化ディスクの剤除 🔛
🤔 続行しますか?
[図] 20

ディスクの削除確認

6. ディスクの削除を続行するには [はい]、キャンセルするには [いいえ] をクリックします。

注意: ディスク イメージをネットワーク ドライブに保存している場合、ネットワーク リソースへのアクセス用パスワードの 入力を求められます。この場合、[パスワード] フィールドにパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。

暗号化キーのバックアップ コピーの作成

Dekart Private Disk には、仮想暗号化ディスクの暗号化キーのバックアップコピーを作成するための機能が備わっています。パスワードを忘れてしまった場合でも、このバックアップコピーを使用すれば、ディスクへのアクセスをレストアすることができます。

バックアップ コピーは暗号化された状態で保存されます。バックアップ コピーの暗号化には、特別な代替アクセス用 パスワード(ディスクへのアクセス用パスワードとは異なります)が使用されます。なお、この代替アクセス用パスワード はディスクへのアクセスをレストアするときに必要になります。

バックアップコピーを作成するには、以下の手順に従います。

1. Dekart Private Disk コントロール パネルの [リカバリ] タブに切り替えます (図 40 を参照)。

🎾 Dekart Private Disk	
ディスク オプション リカバリ カスタマイズ	
ディスクの暗号化キーのパスワード保護されたバックアップコピー を作成します。	JK-M
パスワード保護されたバックアップコピーからディスクの暗号化キーをレストアします。	U2177
仮想暗号化ディスクの圧縮/暗号化/パスワード保護されたバックアップコピーを作成します。	バックアップ(<u>B</u>)
仮想暗号化ディスクの既存のバックアップコピーからデータをレ ストアします。	UZF7
バージョン情報 ヘルプ(出)	開じる(Q)

図 40 コントロール パネルの [リカバリ] タブ

- 2. [コピー]をクリックします。
- 3. 対象の仮想暗号化ディスクのディスクイメージを選択して [開く] をクリックします。
- 4. 仮想暗号化ディスクへのアクセス用パスワードを入力します。
- 5. [暗号化キーの保存]ダイアログボックスが表示されます(図 41 を参照)。

📕 暗号化キーの保	存					? 🗙
保存する場所型:	🚞 Dekart.com - Do	cument	~	G 🦻	► 🔝	
して 最近使ったファイル	p⊈ Dekart.dpd p⊈ ol.dpd					
び デスクトップ						
کې ۱۷×د+۲۶ ۲۶						
פי בארב אד						
マイ ネットワーク	ファイル名(N):				*	保存(<u>S</u>)
	ファイルの種類(工):	すべてのファイル (*.*)			*	キャンセル
		図 41				

暗号化キーのバックアップコピーの作成

- バックアップ コピーの保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。バックアップ コピーへの代替アクセス用パスワードの入力を求められます。
- 「パスワード] フィールドに代替アクセス用パスワードを入力して、[確認] フィールドに同じパスワードをもう一度入力します。パスワードは最低5文字で入力する必要があります。5文字未満のパスワードは使用できません。

注意: バックアップ コピーへの代替アクセス用パスワードに使用できる文字は半角英数と半角記号で、大文字/小 文字が区別されます。他者に推測されにくいパスワードを入力するようにしてください。

注意: 暗号化キーのバックアップコピーの自動作成を有効にすることもできます。

仮想暗号化ディスクの暗号化キーのバックアップ コピーからのレストア

Dekart Private Disk には、既存のバックアップコピー(「<u>暗号化キーのバックアップコピーの作成</u>」を参照)から仮想 暗号化ディスクの暗号化キーをレストアするための機能が備わっています。パスワードを忘れてしまった場合でも、こ のバックアップコピーを使用すれば、ディスクへのアクセスをレストアすることができます。 バックアップコピーから暗号化キーをレストアするには、以下の手順に従います。

- 1. コントロール パネルを開き、[リカバリ] タブの [レストア] をクリックします。
- 2. [暗号化キーを開く] ダイアログボックスが表示されます (図 42 を参照)。

ファイルの場所型: ご Dekart.com - Document
Dekart.dpd Digit oldpd
最近使ったファイル
<i>で</i> デスクトップ
קרביעב אק
マイネットワーク ファイル名(N): 開(の)
ファイルの種類(T): すべてのファイル (**) マ キャンセル

図 42 暗号化キーのバックアップ コピーからのレストア

- 3. 暗号化キーのバックアップ コピーを選択して、[開く] をクリックします。
- 4. 暗号化キーのバックアップコピーへの代替アクセス用パスワードの入力を求められます。

注意: バックアップ コピーへの代替アクセス用パスワードは、半角英数字(大文字/小文字を区別)と半角記 号で構成されます。間違わずに入力するようにしてください。

- 5. 暗号化キーのレストア対象のディスクイメージを選択して、[保存]をクリックします。
- 6. [パスワード] フィールドにディスク イメージへの新しいアクセス用パスワード (暗号化キーのバックアップ コピーへの 代替アクセス用パスワードとは異なります)を入力して、[確認] フィールドに同じパスワードをもう一度入力しま す。パスワードは最低 5 文字で入力する必要があります。5 文字未満のパスワードは使用できません。

Dekart Private Disk の終了

Dekart Private Disk を終了するには、以下のいずれかの操作を実行します。

- Dekart Private Disk システム トレイ アイコンを右クリックして、ポップアップ メニューの [終了] をクリックします。 注意 1: Dekart Private Disk をフラッシュ ディスクにインストールしている場合は、[終了してハードウェアを安全 に取り外す] オプションを使用してください。注意 2: Dekart Private Disk の終了後、フラッシュ ディスクをそのま ま使用する場合は、標準の [終了] オプションを使用してください。
- 2. [オプション] タブの [ウィンドウを閉じたときにプログラムをシステム トレイに最小化する] チェックボックスをオフにしている場合、[閉じる] ボタンをクリックするか、右上の [X] ボタンをクリックします。
- 3. 確認メッセージが表示されます (図 43 を参照)。



Dekart Private Disk を終了するには、[はい]、キャンセルするには [いいえ] をクリックします。

注意: プログラムを終了すると、マウント中の仮想暗号化ディスクはマウント解除されます。

Dekart Private Disk のアクティベーション

Dekart Private Disk の更新プログラムを入手したり、テクニカル サポートを受けるには、Dekart Private Disk をア クティベートする必要があります。

Dekart Private Disk のライセンスを未購入の場合は、Dekart または販売代理店から購入する必要があります。 購入手続きが完了すると、電子メールでアクティベーション キーが送信されます。

Dekart Private Disk をアクティベートするには、インストール時にアクティベーション キーを入力するか、Dekart Private Disk バージョン情報ウィンドウの該当するフィールドにアクティベーション キーを入力します (図 44 を参照)。

1	Dekart Private I バージョン: 2. Copyright (C) 2003, Localization powered	Disk 10 2006 Dekart S.R.L. I by nextEDGE Tec	All rights reserved. Shnology K.K.
			<u>^</u>
	PrvDisk.exe compress.dll dkar.dll dkbioapi.dll	2.10.14 1.13 1.05.0.6 1.04.8.1	C¥Program Files¥Dekart¥ C¥Program Files¥Dekart¥ C¥WINDOWS¥system32¥(C¥WINDOWS¥system32¥(C¥Program Files¥Dekart¥
	このコ 以下にアクティベー アクティベーショ	ピーはアクティベートさ ション キーを入力し aンキーを入手するには	されていません。 て、[OK] をクリックしてください。 、ここをクリックしてください。
	名前:		
	会社:		
	アクティベーション キー・		

図 44

Dekart Private Disk バージョン情報ウィンドウ

注意: アクティベーション キーは、Dekart Private Disk の更新プログラムを入手したり、テクニカル サポートに問い合わせる際に毎回必要になります。

Dekart Private Disk テクニカル サポート

Dekart Private Disk の操作中に何らかのエラーが発生し、その対処法がわからない(診断メッセージ表に記載が ない)場合は、お客様の名前とアクティベーション キーを添えて、テクニカル サポートにお気軽にお問い合わせくださ い。テクニカル サポートに問い合わせるには、Dekart Private Disk バージョン情報ウィンドウを開き、 contact@nextEDGEtech.com リンクをクリックします。電子メールプログラムのメッセージ作成ウィンドウが開き、ソフ トウェアのバージョンに関するすべての情報がコピーされます(図 45 を参照)。後は、問題の説明を記載して、メッセ ージを送信するだけです。または、<u>https://www.shareedge.com/cs/</u>フォームから問い合わせることも可能です。

🖻 Dekart Private Disk 📃 🗖	×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール(T) メッセージ(M) ヘルプ(H)	ł
議信 議任 協調 協調 協調 協調 協調 協調 協調 ABS Image: Comparison of the state of the s	»
09 宛先: contact@nextEDGEtech.com	-
Ba cc :	1
件名: Dekart Private Disk	
▼ I, B Z U A, 計 :: 律 律 E 主 書 ■ - ● ■	_
Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2 (Build 2600) 375 MB RAM InteKR) Pentium(R) 4 CPU 2.00GHz x86 Family 15 Model 2 Stepping 4 GenuineIntel 1993 Internet Explorer 6.0.2900.2180 日本語 PrvDisk.exe 2.10.14 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥PrvDisk.exe compress.dll 1.13 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥compress.dll dkar.dll 1.05.0.6 C:¥WINDOWS¥system32¥dkar.dll dkboapi.dll 1.04.81 C:¥WINDOWS¥system32¥dkbioapi.dll dkhook.dll 1.02 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥dhook.dll pd_lang.dll 2.10 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pd_lang.dll pdapi.dll 1.02.5 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pd.ang.dll pdfilter.sys 1.05.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilter.sys pdfilter.sys 1.05.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilter.sys pdfilteramd64.sys 1.05.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilter.sys pdfilteria64.sys 1.05.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys pdfilteria64.sys 1.12.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys pdfildia64.sys 1.12.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys pdfildia64.sys 1.12.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys pdfildia64.sys 1.12.2 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys prvdisk.sys 1.24.3 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys prvdisk.sys 1.24.3 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys prvdisk.sys 1.24.3 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥pdfilteria64.sys prvdisk.sys 1.24.3 C:¥Program Files¥Dekart¥Private Disk¥	

図 45 ソフトウェアのバージョンに関するすべての情報がコピーされたメッセージ作成ウィンドウ

第5章 - トラブルシューティング

この章には、以下の情報が含まれます。

- 診断メッセージのリスト ユーザが間違った操作を行った場合、または Dekart Private Disk の操作中にハードウェア/ソフトウェア エラーが発生した場合に表示されるメッセージのリストです(診断メッセージ表の[メッセージ] 列を参照)。
- ・ メッセージの説明 各メッセージの説明を示します(診断メッセージ表の[説明]列を参照)。
- メッセージの対処法 各メッセージが表示されたときの対処法を示します(診断メッセージ表の[対処法]列を参照)。

問題の対処法がわからない場合

Dekart Private Disk のインストール中またはハードウェア接続中に何らかのエラーが発生し、その対処法がわから ない(診断メッセージ表に記載がない)場合は、お客様の名前とアクティベーション キーを添えて、以下のテクニカル サポートにお気軽にお問い合わせください。

<u>https://www.shareedge.com/cs/</u>(日本語)

その他製品に関する情報は、シェアエッジ(<u>http://www.shareEDGE.com</u>)WebサイトのPrivate Disk製品ページ を参照してください。

診断メッセージ

Dekart Private Disk のインストール中またはハードウェア接続中に何らかのエラーが発生した場合、以下の診断メッセージ表の対処法をお試しください。

- ・ [メッセージ]列は、画面上に表示されるメッセージを示します。
- [説明] 列は、メッセージの説明を示します。
- ・ [対処法]列は、メッセージの対処法を示します。
- [##] 列は、メッセージに割り振られた固有の番号を示します。テクニカル サポートに問い合わせる際は、エラー識別用にこれらの番号を明記してください。

診断メッセージ表

メッセージ 説明

対処法

01 仮想暗号化デマウントしようとしているディ ディスクのプロパティを表示して、使用するドライブ名を ィスクをマウントスクのドライブ名が別のドラ 変更してください(「<u>仮想暗号化ディスクのプロパティの</u> できません。 イブに割り当てられている <u>変更</u>」を参照)。 か、不正な値です。

オペレーティング システム エすべてのアプリケーションを終了して、コンピュータを再起 ラーです。 動してください。

- 07 このオペレーテ Dekart Private Disk は現 Dekart Private Disk テクニカル サポートにお問合せく ィング システム 在のオペレーティング システださい。 はサポートされ ムでは動作しません。 ていません。
- 08 ヘルプを有効 ヘルプ システムが利用でき Dekart Private Disk のヘルプ ファイル (PrvDisk.hlp) にできません。ません。 が見つからないか、Windows に WinHelp システムがイ

ンストールされていません。Dekart Private Disk テクニ カル サポートにお問い合わせください。

- 09 仮想暗号化デ仮想暗号化ディスクの読み特別なユーティリティを使用して、仮想暗号化ディスク ィスクをバックア 込みエラーです。 をチェックしてください。ファイル システム エラーの可能性 ップできませ があります。 ん。
 - バックアップ ファイルの書き 特別なユーティリティを使用して、バックアップ コピーの
 込みエラーです。
 書き込み先のハード ディスクをチェックしてください。不
 良セクタが存在するか、ディスク容量が不足している
 か、ファイル システム エラーの可能性があります。これらの問題を解決するか、別のディスク記憶装置を使用してください。
- 仮想暗号化デ仮想暗号化ディスクを作成コンピュータに仮想暗号化ディスクを作成するだけの十 11 ィスクを作成でできません。 分な空き容量があるか確認してください。空き容量が きません。 不足している場合は、ディスクのプロパティを表示して ([ディスク] -> [作成] -> [サイズ])、ディスク サイズを調 **整してください。十分な空き容量がある場合は、特別** なユーティリティ (たとえば、Norton Disk Doctor) を使 用して、ディスク イメージの保存先のハード ディスクに 不良セクタがないか、またファイル システム エラーがない かチェックしてください。これらの問題が見つかった場合 は、問題を解決するか、別のディスク記憶装置を使用 してください。または、作成しようとしているディスクのドラ イブ名が不正な値の可能性があります。この問題を解 決するには、config.sys システム ファイル内の LASTDRIVE の設定を変更して、コンピュータを再起 動してください。
- 14 仮想暗号化デバックアップコピーへの代替 正しい代替アクセス用パスワードを入力してください。 ィスクをレストアアクセス用パスワードが正し
 - できません。 くありません。

仮想暗号化ディスクの書き	特別なユーティリティを使用して、仮想暗号化ディスク
込みエラーです。	をチェックしてください。ファイル システム エラーの可能性
	があります。
バックマップ ファイルの詰み	特別たユーティリティを使用して バックマップ コピーの

ハックアッフ ファイルの読み 特別なユーティリティを使用して、ハックアッフ コビーの 込みエラーです。 保存先のハード ディスクをチェックしてください。不良セ クタが存在するか、ファイル システム エラーの可能性が あります。

レストアしようとしているデー 十分な空き容量のある新しい仮想暗号化ディスクを タのメモリ容量が仮想暗号 作成してください。

化ディスクのサイズを超えて

います。

用語集

用語

API	API とは、Application Programming Interface(アプリケーション プログラミ ング インタフェースの略で、オペレーティング システムとアプリケーション間の 対話を可能にするソフトウェア インタフェースです。
BIOS	Basic Input/Output System の略です。BIOS はコンピュータのチップ上に 記録されている重要なルーチン セットで、オペレーティング システムとハード ウェアとの間の基本的な入出力手段を提供します。
ISO	International Organization for Standardization (国際標準化機構)の 略です
認証	ユーザの識別情報の信頼性をチェックするプロセスです。
バイオメトリック認証	ユーザの身体的特徴(指紋、声など)に基づいて本人確認を行う認証方 式です。
二要素認証	以下の二要素に基づいてユーザの本人確認を行う認証方式です。 本人だけが知っているもの – たとえば、ユーザ名およびパスワード 本人だけが所有しているもの – たとえば、eToken デバイス
暗号化キー	元の情報を特別なアルゴリズムを利用して暗号化データに変換するための 特殊な数列です。
ドライバ	データの入力/出力を制御したり、コンピュータに接続されたデバイスをオペ レーティング システムやアプリケーションで正常に動作させるためのソフトウェ アです。
識別	固有の ID を使用して、システムでユーザの識別を行うプロセスです。
一要素 (標準) 認証	以下の単一要素に基づいてユーザの本人確認を行う認証方式です(オ ペレーティング システムの標準的な方法)。本人だけが知っているもの - ユ ーザ名およびパスワード
盗 兒	ロガインタとパフロードを使用して ユーザ認証を行うプロセフです 冬母

登録
 ログイン名とパスワードを使用して、ユーザ認証を行うプロセスです。登録
 が成功すると、そのユーザは許可されている権限範囲内でオペレーティング
 システムにアクセスできるようになります。

<.dpd> ファイル拡張子の関連付け	
Dekart Private Disk オプション タブ	
Dekart Private Disk コントロール パネル	
Dekart Private Disk コンポーネント	
Dekart Private Disk システム トレイ アイコンの変更	
Dekart Private Disk テクニカル サポート	
Dekart Private Disk でセキュリティを強化するための推奨事項	
Dekart Private Disk でデータを保護する方法	7
Dekart Private Disk で作業環境を保護する方法	7
Dekart Private Disk で重要な個人情報を保護する方法	6
Dekart Private Disk のアイコンの有効化/無効化	
Dekart Private Disk のアクティベーション	
Dekart Private Disk のアンインストール	
Dekart Private Disk のインストール	
Dekart Private Disk のコマンドラインでの操作	
Dekart Private Disk の更新	
Dekart Private Disk の再インストール	
Dekart Private Disk の自動実行	
Dekart Private Disk の終了	47
エラーおよびイベントのログ記録	
コントロール パネルの最小化 - [閉じる] ボタンまたは [X] ボタンのクリック時	
コンピュータのソフトウェア要件	
コンピュータのハードウェア要件	
タイムアウト時にディスクを自動的にマウント解除	
ディスクのマウント後、自動的に Windows エクスプローラを開く	
ディスクのマウント時に毎回ドライブ名を指定	
ドラッグ アンド ドロップ	
はじめに	4
ファイアウォール	
フラッシュ	
プログラム終了時の確認メッセージの無効化	
ホットキーの設定	
マウント	
リムーバブル ディスク	
リムーバブル ディスクへのインストール	
暗号化キーのバックアップコピーの作成	
仮想暗号化ディスクのステータス	
仮想暗号化ディスクのバックアップ	
仮想暗号化ディスクのパラメータの表示	
仮想暗号化ディスクのプロパティの変更	
仮想暗号化ディスクのマウント/マウント解除	
仮想暗号化ディスクのマウント時に自動的に実行するプログラムの管理	
仮想暗号化ディスクのレストア	42
仮想暗号化ディスクの暗号化キーのバックアップコピーからのレストア	46

仮想暗号化ディスクの共有	41
仮想暗号化ディスクの作成	23
仮想暗号化ディスクの削除	44
仮想暗号化ディスクへのアクセスを許可するアプリケーションの管理	
仮想暗号化ディスクをエクスプローラで開く	
起動	17
休止状態にする前にディスクを自動的にマウント解除	22
現在開いているファイルのチェック - ディスクのマウント解除前	20
使用許諾契約書	4
主な機能	7
診断メッセージ	
第1章 - Dekart Private Disk について	6
第2章 - Dekart Private Disk のハードウェア/ソフトウェア要件	8
第3章 - Dekart Private Disk のインストール、更新、およびアンインストール	8
第4章 - Dekart Private Disk の操作方法	17
第5章 - トラブルシューティング	49
本ユーザ ガイドの表記規則	4
本ユーザガイドの構成	4
本ユーザガイドの目的	4
問題の対処法がわからない場合	50
用語集	51
連絡先	6